

粗飼料（稲わら）の放射性物質調査の結果について

県内で採取した飼料用稲わらについて放射性物質調査を実施したところ、次のとおり結果が判明しましたのでお知らせします。

1 調査結果

品目	採取地域 (市町村)	採取日	検査日	調査結果(ベクレル/kg)		
				放射性セシウム		
				セシウム 134	セシウム 137	セシウム合計
稲わら	村山地域 (天童市)	9月27日	9月28日	不検出 (<2.0)	不検出 (<3.6)	不検出
〃	最上地域 (真室川町)	9月28日	9月28日	不検出 (<11)	不検出 (<8.7)	不検出
〃	置賜地域 (米沢市)	9月28日	9月28日	不検出 (<4.8)	不検出 (<4.9)	不検出
〃	庄内地域 (鶴岡市)	9月28日	9月28日	不検出 (<5.1)	不検出 (<8.6)	不検出
牛用飼料の暫定許容値						100

- ※ 1 検査機関：村山・最上・置賜は日本環境科学株式会社、庄内は株式会社理研分析センター
 2 検査結果の () 内は、検出下限値
 注) 「不検出」とは、放射性物質が検出下限値未満であることを示します。
 「検出下限値」とは、検査機器で測定できる最小の値のことです。

2 県の対応

4 地域の結果はいずれも不検出であり、県内一円において、稲わらの利用を例年どおり指導していきます。

【問い合わせ先】
 農林水産部畜産振興課
 課長補佐(畜産生産基盤担当) 深瀬庸之
 TEL 023-630-3350
 [報道監]
 農林水産部次長 高橋雅史